

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育と音楽表現 b			科目コード	26Y109	担当者	福井 昭史、中村 浩美、内田 誠、大野 陽子、寺谷 陽子、村田 実智代、山浦 直子、吉田 智子			担当形態	クラス分け
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	演習	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	幼児教育に必要な音楽の基礎技能である、歌唱とピアノ演奏の知識と技能を習得する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	声乐やピアノの学生個々の課題について復習するなどして、知識や技能の定着を図ることが望まれる。
授業の方法	声乐（子どもの歌の歌唱等）及びコード奏法（キーボードによる簡易奏法）〔A〕とピアノの個人レッスン〔B〕の授業を隔週で行う。それぞれの授業は少人数のグループに分けて実施する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	個人の課題に対する表現活動を主とする科目であり、学生は各々の目標を定めその解決のための自主的な活動を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	授業についてのオリエンテーション ピアノの学習①学習の内容と方法の理解 ※内容はグループごとに隔週で実施（A班のパターンで記述）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第9回	ピアノの学習⑤第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第2回	コード伴奏法と歌唱法の学習①学習の内容と方法の理解	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第10回	コード奏法と歌唱法の学習⑤	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第3回	ピアノの学習②第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第11回	ピアノの学習⑥第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第4回	コード奏法と歌唱法の学習②	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第12回	コード奏法と歌唱法の学習⑥	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第5回	ピアノの学習③第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第13回	ピアノの学習⑦第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第6回	コード奏法と歌唱法の学習③	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第14回	コード奏法と歌唱法の学習⑦	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第7回	ピアノの学習④第3段階の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第15回	実技試験と授業のまとめ	学習を振り返り、次の学習に生かせるように自分の課題を明確にする。	
第8回	コード奏法と歌唱法の学習④	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどものうた200/小林美実編/チャイルド社、子どもの歌によるピアノテキスト2026年度版/長崎女子短期大学編、子どもの歌と伴奏/コード奏法/内田誠	受講生へのメッセージ	幼児教育に必要な知識や技能を身に付ける授業です。技能の向上には、学習の継続が欠かせません。こつこつと努力し、練習を積み重ねることで苦手意識を克服し、成就感や達成感を味わい、音楽を楽しむことに繋げて欲しい。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点学修成果の比率 (%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度					
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)	レベル1 (F : 59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	40		20				歌唱教材やコード進行についての知識をもち表現に生かしている。	音楽についての基礎的な知識	授業での活動小テスト	こどもの歌の表現及びコードネームと各調の和声進行を十分に理解し表現に生かしている。	こどもの歌の表現及びコードネームと各調の和声進行を十分に理解している。	こどもの歌の表現及びコードネームと各調の和声進行を理解している。	こどもの歌の表現及びコードネームと各調の和声進行を概ね理解している。	こどもの歌の表現及びコードネームと各調の和声進行の理解が十分でない。
		④ 技能	20		20				声楽やピアノの演奏技能を身に付け表現している。	音楽表現の基礎的な技能	授業での表現活動実技試験	歌唱やピアノ演奏に必要な技能を身に付け、その向上がめざましい。	歌唱やピアノ演奏に必要な技能を身に付け、その向上が見られる。	歌唱やピアノ演奏に必要な技能を身に付けている。	歌唱やピアノ演奏に必要な技能を概ね身に付けている。	歌唱やピアノ演奏の技能に劣っており、その向上が見られない。
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力														
	実践	⑨ 主体性	40						表現活動に主体的、創造的に取り組んでいる。	音楽の学習方法の理解と主体性、創造性	学習への取組み、知識や技能の向上	演奏表現の予習復習など自主的な取り組みが見られ、学習の深化がめざましい。	演奏表現の予習復習など自主的な取り組みが見られる。	演奏表現の予習復習など自主的な取り組みが見られる。	演奏表現への取り組みは見られるが、十分な進歩が見られない。	欠席が多いなど演奏表現への取り組みが不十分である。
		⑩ 協働性														
合計		100		40				60								